

ヨルダンパビリオンの砂漠空間で「乾坤茶会^{けんこん}」を実施します

ーヨルダンパビリオンとの連携ー

堺市では、大阪・関西万博の公式参加国であるヨルダン・ハシェミット王国と連携し、ヨルダンパビリオン内の砂漠空間で茶会を実施します。

砂漠空間を茶室に見立て、堺の伝統文化である茶の湯を活用することで、万博ならではの特別な体験をお届けし、ヨルダンの魅力を知っていただくと同時に、堺の伝統文化を国内外へ発信します。また、大阪公立大学茶道部に協力いただき、学生が主体となっておもてなしすることで、貴重な学びと実践の機会を創出します。

- 1 日 時 令和 7 年 9 月 11 日（木） <第一部> 午後 3 時から
<第二部> 午後 4 時から ※各部 30 分程度
- 2 場 所 大阪・関西万博 ヨルダンパビリオン 1 階 展示室（大阪市此花区夢洲）
- 3 内 容 大阪公立大学茶道部の学生主体による茶会を実施します。
- 4 参加費 無料
- 5 申 込 事前申込不要、当日受付（各部 15 名程度）
※受付方法の詳細は、後日以下の堺市ホームページやヨルダンパビリオン SNS 等で発信予定
堺市ホームページ：
https://www.city.sakai.lg.jp/shisei/sonota/banpaku/pavilion_renkei.html#cmsjordan

6 茶会名の由来

「乾坤」とは、天地や宇宙を意味する言葉であり、広大な砂漠と星空を疑似体験することができるヨルダンパビリオンの砂漠空間を表しています。また、茶会でも用いられる、「一滴潤乾坤（いってきけんこんをうるおす）」という言葉には、「一滴の水が天地を潤す」すなわち小さな物事でも大きな影響を与えるという意味があり、茶の湯における細やかな気配りの重要性を示す意味も含まれます。



ヨルダンパビリオンの砂漠空間



CHANOYU in SAKAI

「茶の湯が息づく 堺」ロゴマーク

7 ヨルダンパビリオンの概要（ヨルダンパビリオンより）

大阪・関西万博 2025 ヨルダン館では「時を紡ぐ」をテーマにさまざまな日本人のアーティストの方々と協業しています。ヨルダン館の「風土・味・香り」を通じて、今までにない中東の世界へ皆様を誘います。360 度のシアタールームでは実際の砂漠の砂を本国から直接輸入し、実際の砂漠の雰囲気を感じていただきながら、ヨルダンの歴史をお楽しみいただけます。

豊かな現代性と由緒ある伝統が交じり合う空間でヨルダン館が放つ「瞬間の美」を感じていただけます。死海のエッセンスをご堪能いただける特別なスパエリアも常設しております。歴史あるヨルダン。新しい道標を探究できる唯一無二の空間です。それはまさに「ヨルダン館」の世界に袖を通した瞬間に、ご自身の中から優美な色彩感と感性が滲み出す「時」を感じていただけます。

当日は会場にて是非ヨルダン館が想う、独創的な大胆さと真価をご体感ください。



ヨルダンパビリオン

8 本市とヨルダンとの関わり

ヨルダンから万博を契機とした連携に関して働きかけがあり、「万博国際交流プログラム[※]」を活用した交流事業を実施しています。

※内閣官房が主体となり、地域住民と万博参加国・地域の関係者が、地方公共団体の事業を通じて継続的に国際交流するための枠組みです。

問 い 合 わ せ 先	担 当 課：市長公室 政策企画部 広域連携課 電 話：072-222-0380 ファックス：072-222-9694
----------------------------	--